

Express5800/R125k-2M

GPUコンピューティングカード搭載時に登録されるログに関するお知らせ

日頃より、弊社製品をご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。

Express5800/R125k-2Mにおいて、特定のGPUコンピューティングカードを搭載した場合に登録されるログについて、ご案内いたします。

— 記 —

1. 対象装置

Express5800/R125k-2M

2. 発生条件

次のいずれかのGPUコンピューティングカードを搭載した場合

- ・ N8105-75 GPU コンピューティングカード(NVIDIA RTX PRO 6000 BSE)
- ・ N8105-76 GPU コンピューティングカード(NVIDIA H200 NVL)

3. 登録されるログの内容

iLO Web インターフェイスの[システム情報]→[インテグレートドマネジメントログ]に次のログが登録されることがあります。

●インテグレートドマネジメントログ

↓ID	深刻度	クラス	説明	最終アップデート	回数	カテゴリ
41	●	CPU	CPU Throttling Triggered. CPU may be operating at reduced performance.	07/13/2026 05:38:10	1	Hardware
40	①	Maintenance	Backup operation completed.	[未設定]	1	Administration
39	①	Maintenance	Backup operation is in progress. Power cycle or iLO resets requests shall be deferred until	[未設定]	1	Administration

深刻度	クラス	説明
修正済	CPU	CPU Throttling Triggered. CPU may be operating at reduced performance.

このログは、システムの保護機能により、CPU の動作性能を一時的に抑制するスロットリングが発生したことを示します。

GPU コンピューティングカードを搭載している場合、GPU の動作状況やシステムの電力・温度条件によって高負荷状態となり、保護機能が動作して本ログが登録されることがあります。

本ログが登録された場合、iLO Web インターフェイスの「電力&温度」→「温度」から、「02-CPU 1」センサーのステータスが「OK」であることを確認してください。

また、RHEL 環境においては、OS のシステムログ (/var/log/messages または journalctl の出力) も併せて確認することをお勧めします。

●OS のシステムログ (RHEL 環境)

```
Jul 13 05:38:05 localhost smad[41]: [ALERT ]: WARNING: CPU Throttling Triggered, CPU may be operating at reduced performance.
Jul 13 05:38:10 localhost smad[41]: [ALERT ]: NOTICE: CPU Throttling Triggered, CPU may be operating at reduced performance. has been repaired
```

上記のように「CPU Throttling Triggered」ログの登録後、数秒から数十秒で「has been repaired」ログが登録されている場合は、スロットリングが解除され、正常状態へ復帰していることを示すため、対処は不要です。

次のいずれかに該当する場合は、本体装置の冷却設定、電源構成、およびファームウェアの状態を確認し、販売店または保守サービス会社へお問い合わせください。

- ・ OS のシステムログに「has been repaired」ログが登録されない場合
- ・ インテグレートドマネジメントログに「CPU Throttling Triggered」ログが継続的に登録される場合
- ・ 性能低下が継続する場合

以上